

今こそ知ってほしい!! HPV(ヒトパピローマウイルス)感染

健やか親子21と
どう関係するの?

HPVと
ワクチンの
基礎知識



「健やか親子21」はHPV感染にどう関係するの?

安心・安全な妊娠、出産、育児に大きく関わります。
HPV感染が原因で、結果的に妊娠、出産を断念しないといけない女性、
出産・育児に大きな不安を抱えているご夫婦が少なくありません。

健やか親子21 推進協議会 テーマグループ4 参加団体

- (公益社団) 日本小児科学会
- (公益社団) 日本産科婦人科学会
- (一般社団) 日本児童青年精神医学会
- 日本子ども健康科学会
(子どもの心・体と環境を考える会)
- (公益社団) 性の健康医学財団
- 全国保健所長会
- (公益社団) 日本看護協会
- (一般社団) 日本公衆衛生学会
- (一般社団) 日本小児看護学会
- (一般社団) 日本小児救急医学会
- (一般社団) 日本助産学会
- (公益社団) 日本産婦人科医会
- (一般社団) 日本母乳の会
- (一般社団) 日本周産期・新生児医学会
- (一般社団) 日本学校保健学会
- (一般社団) 日本小児神経学会
- (一般社団) 性と健康を考える女性専門家の会
- (一般社団) 日本糖尿病・妊娠学会
- (一般社団) 日本臨床心理士会
- 日本生殖看護学会
- 日本乳幼児精神保健学会 FOURWINDS
- (公益社団) 日本新生児成育医学会
- (一般社団) 日本小児外科学会
- (NPO) 日本ラクテーション・コンサルタント協会
- (一般社団) 日本小児心身医学会
- 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻



健やか親子21



HPVはどのように感染するの？



性器や口などを介して男性にも女性にも感染します。例えば、性交渉の経験がある女性のうち50%～80%は、生涯で一度はHPVの感染機会があると推計されています。



HPVが原因となるがんにはどのようなものがあるの？



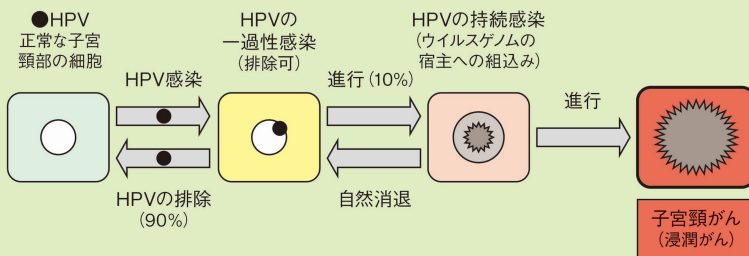
子宮頸がんが有名ですが、口腔・咽頭、外陰・肛門など他部位のがんもあります。(中咽頭がんでは約半数でHPVが見つかります。)



HPVに感染するといきなり子宮頸がんまで進むの？



異形成(前がん病変)



▲(HPV感染から子宮頸がんへの進展について:[1]より引用)

子宮頸がんのほとんどは、ヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスの感染が原因であることがわかっています。このウイルスは性的接触により子宮頸部に感染します。HPVは男性にも女性にも感染するありふれたウイルスであり、性交渉のある女性の過半数は、一生に一度は感染機会があるといわれています。しかしHPVに感染しても、90%の人においては免疫の力でウイルスが自然に排除されますが、10%の人ではHPV感染が長期間続きます。このうち自然治癒しない一部の人は異形成とよばれる前がん病変を経て、数年以上をかけて子宮頸がんに進じます(図参照)[1,2]。



妊娠・出産に影響はあるんですか？



円錐切除術を受けた場合(上皮内がんなど)、早産のリスクが上昇することが報告されています(1.7-2.6倍)[4]。浸潤がんでは、子宮温存そのものが困難な場合が多いです。尖圭コンジローマのように、産道感染のリスクを伴うものもあります。



子宮頸がんの好発年齢と死亡者数はどれくらいなんですか？



子宮頸がん(上皮内がんを含む)の年齢階級別罹患率では30-40歳代がピークです。日本で子宮頸がんではなくなる患者さんは年間約2,700-3,000人です。[1~4]



HPVワクチンの効果に性差はあるんですか？



男性でも女性でもワクチンによる感染予防効果があることが知られています。男女ともに接種するという考え方も出てきています。



子宮頸がんの予防策について教えてください。



子宮頸がんを予防するためには、HPVワクチン接種によりHPV感染リスクを減少させる(1次予防)とともに、がんの早期発見・早期治療につなげるためのがん検診を受診すること(2次予防)が重要です。



HPVワクチンにはどのような種類があるの？



日本では、2価ワクチン(16型/18型)と4価ワクチン(16型/18型および尖形コンジローマの原因となる6型/11型)があります。子宮頸がんの原因として、16型と18型が多く、日本でもこの2つで65%を占めます。HPVワクチンにはHPV感染リスクを減少させる一方、ワクチン接種後に接種部位の痛みやはれ等の症状がみられることがあります。ワクチンの意義・効果と接種後に起こりえる症状について知っておくことが大切です。

参考資料

- [1] 日本産科婦人科学会からの公開資料「子宮頸がんとHPVワクチンに関する最新の知識と正しい理解のために」
http://www.jsog.or.jp/public/knowledge/pdf/HPV_Q&A.pdf
- [2] 公益社団法人 日本産科婦人科学会のホームページ「一般の皆様へ > 産科・婦人科の病気 > 子宮頸がん(2018年11月時点)」
- [3] 厚生労働省からの公開資料「ヒトパピローマウイルス感染症(HPVワクチン)」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/dl/hpv180118-info03.pdf>
- [4] 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(2018年11月時点)
- [5] 子宮頸癌治療ガイドライン2017年版 - 日本婦人科腫瘍学会編(金原出版)ほか

